

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4674800117
法人名	有限会社 ファースト・ケア
事業所名	グループホーム いこい
所在地	鹿児島県出水市高尾野町大久保1432番地1 (電話) 0996-82-5537
自己評価作成日	平成29年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個人の思いを尊重しそのご家族様と協力連携をとり、より良いケアへつなげることに努めている。
一年間を通して利用者様の体調配慮しながら行事を行い、楽しい時間を過ごして頂けるようしえんいたしています。
現在、ご家族様職員医療機関連携の下、看取りへの取り組みを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は地域とのつながりを大切に、地域行事への参加やサマーボランティア・演芸ボランティアの受け入れ、実習生や保育園児との交流、運営推進会議において地域の情報を得たり、事業所への提案やアドバイスを頂いたりと良好な関係が築かれている。
- ・排泄においては、日中ほとんどの利用者が普通の下着を着用し、声かけや誘導でトイレでの排泄を行うなど、利用者の思いを尊重しながら個々の能力に合わせた支援が実践されている
- ・家族との関わりを大切に考え、事業所が発行する「いこいだより」は利用者毎の写真とコメントが載せられている。家族会では家族だけの時間を設け意見や要望が出しやすい環境を設けたり、個別に面談を行い、家族と一緒に地域の温泉へ出かけるなど、家族と一体化したケアに努めている。
- ・医療機関との連携を図り、往診や緊急時の対応など家族に安心感を与えている。重度化や看取りについても本人や家族の意向に沿った対応が行われ、看取りの事例がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	業務中、ミーティングにおいて定期的にスタッフに投げかけるように努めています。	開設当初からの理念があり、玄関やホール・トイレなど、目につきやすい場所に掲示し、ミーティング等で確認と振り返りを行い理念に沿ったケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	サマーボランティア、看護学生実習不定期行事で、地域のボランティアの方と交流を図っている。ファミリーレストラン、カフェを利用する機会もつくっている。	日頃から散歩の時にあいさつや会話を交わしている。地域の清掃活動や夏祭りの踊りに参加したり、事業所の敬老会にはボランティアの踊りや福祉パーティーでは、地域の方がうどんを出店したり、書道のパフォーマンスもある。保育園児の訪問もあり、楽しく地域と触れ合っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	看護実習生、ボランティアの方々に認知症の事前学習を行うことで、実習時に利用者様との関わりがスムーズに行えるように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政機関、民生委員、自治会長、家族代表、施設内関係者の参加にて定期的実施している。会の中で意見等あった際、実施改善に努める。</p>	<p>2ヶ月に1回、定期的開催している。利用者の状況や行事計画・活動報告・施設の案内・ヒヤリハットなどを報告し、意見交換をしている。参加者から地域交流についての提言があり、サービス向上に活かすよう努めている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>行政機関に事業所における現状報告、相談、情報交換を行い協力関係を築けるように努めている。</p>	<p>役所に書類関係や相談で出かけたり、電話をすることもある。運営推進会議の時は現状報告やホームの状況等を伝え、協力関係を築いている。行政の研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日々のケアの中で職員間で問いかけを行い身体拘束、スピーチロックにつながらないような声かけを心がけている。</p>	<p>身体拘束廃除宣言をしている。指針やマニュアルがあり、定期的に勉強会を実施している。スピーチロックもミーティングで話し合い、声かけに気配りしている。昼間は玄関の施錠はしていない。外出傾向がある時は、声かけや見守り・外出に同行して支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々の業務の中で疑問に思った事を、全体の課題として取り組みグリーゾーンから指導し学ぶ場を設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今年度中に職員一人ひとりに考えられるような場を持ちたいと思っています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に十分説明を行い疑問質問にはご家族の不安解消できるように努めます。その都度不安疑問あれば随時対応しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置、面会時や家族会時に意見を聞く場を設けケアにつながるように職員全員で努めています。</p>	<p>利用者からは日常会話や表情・しぐさから汲み取る様に心がけている。家族からは面会時や電話での報告時、家族会において家族だけの時間を設けたり、個別に面談するなど、意見や要望を出しやすい環境づくりに努めている。出された意見や要望は職員間で共有し話し合い、ケアに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見は随時聴けるようにし、必要があると感じればミーティングで全体の意見をまとめ状況に応じて代表者に伝えるおに努める。</p>	<p>朝の申し送り時や申し送りノート、毎月の全体ミーティング時に聞く機会を設けて把握している。出された意見や提案等、全員で話し合いケアに反映させている。個人面談もしている。入浴介助等のケアについての提案が多い。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者が常勤しており必要に応じて管理者が相談し職場環境改できるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や施設内研修、新人研修を不定期的に行い職員一人一人のケアの知識向上につとめる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出水川薩支部のグループホーム連絡協議会主催の研修会に参加し他施設との交流を交えお互いにサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>自宅訪問や利用中のサービスなどえ足を運び事前面談を行い、本人様の話を傾聴する中でニーズの把握に努め良好な関係築けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前でご家族様の不安や苦勞を傾聴することで、相談しやすい関係を築き入所に当たってのニーズを聴きプランに反映するように努める。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所にあたり本人様がどのような支援を必要としているのかアセスメントし全ケアマネージャー、ご家族様の意見を聞き必要に応じた対応を努める。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護するという一方的なケアではなく、利用者様が何を訴えているのか表情、言葉の奥底に目を向けられるケアを行い信頼関係をきずくよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様、スタッフ、本人様との連携を密にし全体で支援していけるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人に会いに行ったり、いつでも面会できるよう努め施設で生活を送りながらも以前のつながりを継続できるように努めている。	入居時のアセスメントや家族からの情報で把握し、デイサービス利用者との交流や地域行事への参加・自宅周辺へのドライブ・馴染みの店への買い物・面会に来やすい環境づくり・手紙の支援・電話の取次ぎなど、馴染みの人や場との関係継続への支援に努めている。家族の協力を得ながら墓参り等にも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や状況を十分に把握し見守り橋渡しを行うことで双方の心の安定を測るように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様やケアマネージャーと退居後も必要に応じて連絡を取りその後の経過のソファアに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様から聞かれる言葉や表情から思いを組みとり、家族と連携をはかりケアに努める。	入居時のアセスメントや家族からの情報を聞き、思いを汲み取るよう心がけている。食堂や廊下のソファでゆっくり話を聞いて、職員が共有して対応している。困難な場合は気づきノートや申し送りノート・職員を交代して対応し、本人中心に検討し意向に沿ったケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談にてなるべくこれまでの生活環境を見させていただき、入所後途切れることなく暮らして頂けるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や状態に目をむけ行動表情発言等記録し情報の共有を行いより良いケア支援が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一回のミーティングでスタッフでさらに情報共有し意見をもらいながら作成している。またモニタリングにおいても担当スタッフ他スタッフに掲示することで情報の交換を行い反映されている。	本人や家族の意向を確認し主治医の意見を踏まえ介護計画を作成している。毎月のミーティングにおいて情報を共有し3ヶ月毎に全員でモニタリングを行い、1年での見直しを行っている。状況変化時には随時話し合い見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々に様子や実践等毎日個人記録に記入したり申し送りノートにてスタッフと情報共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じてスタッフで意見を出し合い時にはご家族様の意向、ご本人様にとってより良いサービスを提供できるよう努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域での行事に参加したり施設内の行事に地域の方々を招き一緒に時間を過ごす事心がける。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人ご家族様の希望を聞き主治医を決定している。必要に応じてかかりつけ医と連携をはかり適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医である。協力医の往診が月1回あり、必要に応じて、かかりつけ医と連携している。歯科は往診で対応している。家族が同行できない時は、職員が同行している。主治医との受診連絡票があり、適切な医療が受けられる様支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	平日は併設のデイサービス看護師へ相談助言協力を得ている。訪問看護医療利用時は、相談し助言を求めている。協力機関へ電話し協力を得ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様が入院された際は病院の看護師や連携室職員と情報共有連携し今後どうして行くか定期的に話しをするよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居された際に終末期についての考えをさりげなく聞くようにし、またご本人に状態変化に応じ随時ご家族やご本人様と話し方針を検討している。	指針・マニュアルを基に入居時に文書で説明し、同意を得ている。状況の変化に伴い、医療が必要になった時は、段階的に家族と話し合い、方針を確認しながら対応している。看取りの事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティングや、勉強会を行い併設するデイサービス職員と連携がはかれるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回火災、地震想定避難訓練を行っている。消防署より指導受け地域の方、利用者にも参加していただいている。</p>	<p>マニュアルを基に年2回、昼夜想定での火災・地震想定避難訓練を実施している。年1回は自主訓練で運営推進会議参加者も加わり緊急連絡網による通報訓練を行っている。災害時の米やカップラーメン・缶詰などを備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し言葉かけや対応を心がけている。また随時お互いの声かけの対応についてその時々で話、検討している。	指針・マニュアルがあり、外部研修会に参加して、伝達勉強会を行い、確認と意識の統一を図っている。入浴や排泄介助時の支援や声かけに注意してプライバシーを損ねない対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせた声かけやコミュニケーションをとり、言葉だけでなく表情態度から汲み取るよう魅している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様にちって、どのようなケア声かけが適切か常に表情や態度に目を向け、その方のペースにあわせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	日常生活において洋服を選んで頂いたり、洗顔整髪を行えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	アセスメントにてご本人様の好きだったものを聴き食事に反映させたり、一緒に作ることで食事に対して意欲がわくよう支援している。また、外食出前弁当などで気分転換も図っている。	入居時の嗜好調査や食事時の観察で食事形態の工夫をしたり、代替え食の提供を行っている。職員と一緒に野菜の下ごしらえや台拭き・配膳・下膳などを行っている。菜園で収穫した野菜を活用したり、焼きそばやたこ焼き・巻き寿司を一緒に作ったりバーベキューをして食事が楽しめるように支援している。外食に出かけたりして楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量が少ない場合はバナナやエンシュアなどを提供したり分食すとう工夫する。水分でムセのある方はトロミをつけて水分を取れるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後義歯の洗浄や歯磨きの支援を行う。必要に応じ毎食後声かけ行い歯磨きうがいをして頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行いご本人様の排泄パターンを把握し、その人にあった排泄支援をしている。日勤帯では布パンツにパット使用し、おむつの使用軽減を図っている。	排泄チェック表でパターンを把握しトイレ誘導を基本に支援している。日中はできるだけパンツ着用、夜間のみリハビリパンツとパットを着用、パットの種類も検討している。リハビリパンツ使用から普通のパンツに改善できた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の際水分補給や食事に気をつけたり散歩（運動）など心がけている。必要に応じてその人にあつた病院処方の下剤を服用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は週三日となっているがご本人意向や体調に合わせている。お一人で入って頂く方や、お二人で入りたい方、あわせた支援を行っている。	入浴は週3回、午前中に実施し、体調や気分に合わせて柔軟に対応している。入浴剤を使用し会話をしながら、ゆっくりとした時間を心がけている。拒否のある利用者には、声かけのタイミングや利用者間の声かけで対応、必要に応じて清拭や足浴を行っている。年1回地域の温泉へ出かけて楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昨日の睡眠状態を把握し状態に応じて休息を促したり温度湿度等眠りやすい環境を整える。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全利用者様の服薬が一目でわかるようにファイルしている。また、服薬の間違いのないようにスタッフで二重チェックをおこなっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事に目を向け洗濯物畳みや皿洗い調理の下ごしらえなどそれぞれ利用者様が生き生きと過ごせるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外食や初詣お盆、知人家族の面会などの出かけたりしている。毎月の行事などで外出をとりいれ季節を感じていただいている。	日常的に天気の良い日は周辺の散歩や日光浴・菜園の手入れ・庭でお茶を飲んだり、ドライブを兼ねて自宅周辺や近くの店での買い物に出かけている。月1回の園外活動や家族との外出・外泊・外食など、外出の機会が多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様ご家族様の希望により、ご本人様が持っていらっしゃる方もおられます。他の利用者様に関してはこちらでお預かりし必要に応じて職員と同行の下買い物をしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご希望時にご家族に電話をしたり年賀状お祝いのお礼の手紙や電話支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり廊下には行事の写真を掲示していつる。また日中過ごされる食堂にも季節の飾りや手作りのもので明るい雰囲気になるようにしている。	建物は回廊下になっており、中庭に花や野菜が植えてあり明るく、飼われている犬が癒しになっている。廊下にはゆっくり休めるようソファが置かれ、壁には行事の写真や手芸作品が飾られ、利用者の日常の様子が良く分かる。食堂には季節の花や加湿器が置かれ空調管理が整って、居心地の良い共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席では会話時トラブルを回避できるように利用者様の相性も考慮する。トラブルに至りそうな際はスタッフが間に入るとう支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使われていた家具等なじみのある物を持ってきていただく事で、ご自宅で過ごされた環境に近づけるように心がけ安心して生活が送れるように支援している。	居室にはベットやエアコン・クローゼット・靴箱が備え付けられている。それぞれがテーブルや椅子・お茶セット・仏壇・位牌を持ち込み、家族写真や手芸作品・時計・小物等が置かれ、個性的な設営で居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様個人に合わせ居室内に手すりを設置したりトイレ、食堂への案内わ貼りより生活を送りやすいようにする。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない